

## 目次

- ① 中国の体制
- ② 中国の治安
- ③ 中国の主要産業・企業
- ④ 主な輸出・輸入相手国
- ⑤ 日系企業進出状況
- ⑥ 参考文献

## 目的

今や多くの企業が中国に進出しているという事実は言うまでもない。まだ、海外とのつながりのない企業も「まずは中国で」という認識があるのではないだろうか。しかし、その考え方、傾向は安全といえるのであろうか、このままでも大丈夫なのかという疑問から、中国についての調査に繋がった。

## 内容

- ① 中国の体制  
内政状況、国土、人口、GDP 成長率を日本とアメリカとの比較
- ② 中国の治安  
総犯罪件数とその内訳をみて日本との比較
- ③ 中国の主要産業・企業  
主に第二次産業、第三次産業について、何を扱っているか  
中国の時価総額の高い企業を日本企業と比較
- ④ 主な輸出・輸入相手国  
どこの国と取引しているか、その額と割合
- ⑤ 日系企業進出状況  
コロナ禍における中国へ進出している企業の数と今後の進退のアンケート結果  
抱えている問題点について

## 結論

日系企業の中国にある拠点数は三万か所以上となっている。また、在中国日系企業の今後1~2年の事業展開の方向性として「拡大」が36.6%、「現状維持」が55.6%と多くの企業が前向きな回答をしている。だが、現状の問題点として、中国人労働者の賃金の上昇、環境規制の厳格化、競争相手の台頭といったものが挙げられる。したがって、今後数年は安全ではあるが、十年後や今後進出することは今よりも危険度が高いと判断できる。